

## 西濃農林事務所の普及活動状況

平成30年7月31日現在

### 今月の重点活動

#### ■なし 新技術及び産地視察研修を実施～第3回「梨塾」～

7月11日に、大垣市ナシ生産連絡協議会の主催による第3回「梨塾」が開催され、塾生6名と大垣市、JAにしみの担当者、県職員らが参加して三重県農業研究所及び伊賀市白鳳梨生産組合への視察研修を実施した。

農業研究所では、大垣市でも導入されている<sup>こんけんせいぎよさいばいほう</sup>根圏制御栽培法について、収穫量などの生産実績の他、栽培管理上の留意点について詳しい説明を受けた。伊賀市の梨園では、1.1haを栽培している若手農業者から、経営内容及び数人の若手農業者が育ち、拡大傾向にある産地の振興方針を聞き、活発な意見交換を行った。

農業普及課は、視察の組み立てと連絡調整等の他、視察行程の道中で栽培技術に関する研修、クイズ形式での梨に関する情報提供、SWOT分析（強み弱み分析）とマンダラアートの手法を用いた産地の分析・診断を行い、梨産地の維持と後継者育成を支援した。



【若手生産者から説明を聞く塾生】

### 多様な担い手づくり

#### ■女性農業経営アドバイザー 経営能力の向上を目指して～視察研修会～

西濃ブロック女性農業経営アドバイザーの視察研修会が、7月3日に開催された。視察先の滋賀県東近江市で酪農家が営む交流施設「池田牧場 香草庵」<sup>こうそうあん</sup>で、取締役の方から農業の6次産業化に取り組まれた経緯や、経営理念についてお話を伺った。以前は、計画量を超えて生産した牛乳は廃棄していたが、ジェラートなどに加工、販売（6次産業化）することで課題が解決できたこと、また、消費者と直接つながることで、消費者の意見を経営の発展に生かしたことなどを、女性経営者ならではの細やかな目線からわかりやすく聞くことができた。参加したアドバイザーにとって、今後の農業経営に向けて参考となる視察研修になった。

農業普及課は、研修会の企画支援、助言等を行った。



【経営のヒントをもらった視察研修の様子】

### 売れるブランドづくり

#### ■大豆 全国豆類経営改善共励会で受賞、表彰式が開催される

<sup>ぜんこくまめりいけいせいぜんきょうれいかい</sup>全国豆類経営改善共励会の表彰式が6月28日、東京都内で開催された。岐阜県からは、海津市の（農）札野営農組合が全国農業協同組合連合会会長賞を受賞した。大豆ほ場の排水対策、雑草対策をきちんと行って高い収穫量を確保した他、労働時間もかなり短い水準で良好な成績を上げたことが評価された。

農業普及課では、これから最盛期を迎える大豆栽培について病虫害防除などを指導し、収穫量と品質の確保に向けて営農組合等の活動支援を行う。



【全国豆類経営改善共励会表彰式】

## ■ トマト **GAPに向けて、ハザードポイント（危機管理点）の洗い出しを実施**

7月12日、JAにしみの海津トマト部会は、GAPの実践に向けて、収穫から出荷までの工程におけるハザードポイント（危機管理点）の洗い出しとリスク評価を行った。

JAにしみの海津集出荷センターにおいて、海津トマト部会役員と関係機関9名が出席し、トマト作業工程の危害要因を検討したところ、収穫用コンテナの中に入れてあるマットの適切な取扱い、収穫用ハサミの洗浄の程度をどうするのか等、よりよい農業を実践するため現場で直面する個別具体的な意見が出された。

ハザードポイントの洗い出しは1回では終わらないため、今後も定期的に現地確認と検討を重ねて、リスク評価を行っていく予定としている。

## ■ 神戸町下宮青果部会協議会

### **安全・安心を徹底する～農薬安全使用研修会を開催～**

7月3日、神戸町下宮青果部会協議会で農薬安全使用研修会が開催された。病虫害の発生が多くなる時期に、農薬の安全かつ適正な使用について再度認識し、安全・安心な農産物生産を徹底する目的。農業普及課から「農薬の安全使用について」と題し、農薬取締法、食品衛生法の内容や注意すべきポイント、具体的な事例等を紹介し、指導を行った。

### **下宮版GAP（※）の内部監査を実施**

7月20日、神戸町下宮青果部会協議会では下宮版GAPの役員監査が行われた。協議会役員、JAにしみの下宮支店担当者、農業普及課が班に分かれて役員宅を巡回し、農薬の保管状況、農薬散布機の洗浄状況など、17項目について確認を行った。また、31日には協議会員全員に対して同監査を実施した。8月には監査結果をまとめ、全員を対象に説明会を実施する予定である。

### **（有）健康やさい村～グローバルGAP（※）取得に向けて～**

6月21日、7月6、13、27日、神戸町で小松菜とゴーヤを生産している（有）健康やさい村において、健康やさい村、JAにしみの下宮支店、農業普及課の3者によるGAP取得に向けた協議と現地確認を行った。昨年度実施したGAPコンサルタント派遣事業の結果を受け、評価書に照らし合わせて指摘された不適合項目だけでなく、適合項目についても再検討、確認を行った。不適合項目を適合レベルに持つていくためにはどこをどう改善すれば良いのか、法令等を遵守した管理がなされているか、書類の保管や表示が適切になされているかなど、一つ一つについて検討した。

なお、神戸町でネギを生産する（株）アグリ・F・神戸は、7月上旬、JGAP認証を取得した。農業普及課は今後もGAP取得に向けて支援していく。

【写真上：農薬安全研修会、写真中：GAP監査、写真下：健康やさい村GAP現地確認】



## ■ ブロッコリー **準備が大事～栽培前研修会～**

ブロッコリー栽培前研修会が各地域で開催されている（7/20 不破部会、7/26 安八部会、7/25 大垣部会）。大垣部会及び安八部会では、毎年、栽培ほ場を変更する農家が多いため、栽培前に土壌診断を行っている。農業普及課は個々のほ場毎に診断結果に基づいた土壌改良剤の施用について処方箋を作成し、説明を行った。また、品種・定植時期について説明し、出荷量の平準化に向けた作付を呼びかけた。